

週報

年 題「主を信じ、御声に導かれ、主の牧場に憩う」

「わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。」ヨハネ10:14-15

2024年 3月10日 No. 10

ホームページ <http://izumo-church.net>

出雲福音ルーテル教会・浜山グレースチャペル 牧師 清間 寿仁

〒693-0054 出雲市浜町494-3 TEL 0853-22-4693 E-mail izumo-lutheran@sky.plala.or.jp

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を
今週の聖書 信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」
ヨハネ3:16

礼 拝 式

四旬節第4主日

司式 清間 寿仁 師
奏楽 清間 志音 姉

奏 楽
讃 美 歌 (起立) 5 7
祈 り

讃 美 歌 4 5 9
聖 書 朗 読
ヨハネ3章14節～21節 (新約167P)

永瀬 春美 姉

信 仰 告 白 (起立) 使徒信条

讃 美 歌 (起立) 2 9 8
説 教 「光の方に来る」

清間 寿仁 師

讃 美 歌 3 0 3

感 謝 献 金 (起立) 6 5 - 2

山崎 加奈 姉

吾郷 義也 兄

主 の 祈 り (起立)

頌 栄 (起立) 2 7

祝 福 (起立)

後 奏 (起立)

清間 寿仁 師

私たちは神様の家族の一員です。
ちはや一人ではありません。
主の平安をたずさえて行きましょう。
家庭に、職場に、学校に。

教会祈禱

1.清間師、I・ヴァルボ先生の働きと祝福を覚えて。

2.其々の新しい奉仕者が与えられるように。

使徒信条

われは天地の創造主(つくりぬし)、
父なる全能の神を信ず。

われはその独り子、われらの主
イエス・キリストを信ず。主は、聖霊
によりて宿り、おとめマリアより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ
を受け、十字架につけられ、死し
て葬られ、よみにくだり、三日目
によみがえり、天にのぼり、父なる全
能の神の右に座したまえり。生ける
人と死にたる人とを裁かんがため、
かしこより再び来たりたまわん。
われは聖霊を信ず。また、聖なる
キリスト教会、すなわち、聖徒の交
わり、罪のゆるし、からだのよみが
えり、かぎりなき生命を信ず。
アーメン

主の祈り

天にましますわれらの父よ。
願わくは御名を崇めさせたまえ。
御国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、
地にもならせたまえ。
われらの日用の糧を、
今日も与えたまえ。
われらに罪を犯す者を、われらが
ゆるすごとく、われらの罪をも
ゆるしたまえ。
われらを試みにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国と力と栄とは限りなく
汝のものなればなり。 アーメン

活動方針

主を信じ貴方の全てを主に委ねる。

主を信じ主の御声に導かれる。

主を信じ癒やしと平安に満たされる。

先週の説教

「情熱」

清間寿仁

出20:1-7 詩篇19 | コリント1:18-25 ヨハネ2:13-22

「イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」ヨハネ2:19
わたしの父の家、それはイエス様

『イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。』ヨハネ2:15-16

「過越の祭」それは、「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。」出20:2、の御言葉で神様が言われる通り、昔、エジプトの奴隷であった民を神様が救い出して下さった事を記念し、祝うお祭りです。この日に、人々は遠くから神殿のあるエルサレムに巡礼し、罪の赦し、購いの生け贄を献げ、主なる神に感謝し、悔い改め、主を信じ御言葉に従い生かされるよう祈りを献げ、自分達の住まいへと戻っていったのです。ですから神殿の境内では、遠くから購いの生け贄の動物を連れてくる事が出来ない巡礼者のために、羊や羊や鳩を売る商人達や、献げものための清い硬貨に交換する両替商達がいたのです。

ところが彼らは、その本来の意味を忘れ、主なる神様を礼拝する神殿内で、暴利を貪り、己の欲のためだけに商売をしていたのです。それを見られたイエス様は縄で鞭を作り、商人や両替商達を追い払います。弟子達はこのイエス様を見た時「あなたの家を思う熱意がわたしを食い尽くす」17と聖書に書いてある御言葉のことを思い出しました。

商売人も両替商もユダヤ人たちも皆、「あなたは、こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」(18)とイエス様にくっかかりました。その人々に対しイエス様は「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」(19)としるしを言われました。四十六年もかけても未完成であったこの神殿を三日で建直すなど、人々はイエス様が約束されたその「しるし」を信じる事が出来なかったのです。しかしイエス様が言われたその「しるし」こそ、十字架のうえに人々の罪を贖う生贄として献げられるご自分の身体と命の事をおっしゃったのでした。(20)

情熱

この弟子達が見たイエス様の熱情こそ、『激しく血がたぎるような感情。燃えるような強い情熱』でした。今から20年前に公開された映画「Passion」(情熱 The Passion of the Christ キリストの受難)という映画を思い出します。そしてまた、出エジプト記20:5には「わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。」と言われる通り、父なる神様とイエス様は同じ情熱の神なのです。イエス・キリストの十字架、それは、昔父なる神が、情熱を持って、エジプトでの奴隷の苦しみから人々を解放し、救い出された時の様に、罪の中で苦しみもがき、死に怯えて生きる罪の奴隷であった私達を解放し救い出すための十字架の受難、私達に対する、激しく血がたぎるような愛情を、燃えるような強い熱意を持って、十字架の上にお身体と命を献げ、壊し、そして約束の通り三日目に復活し、今も生きて貴方に十字架と復活の情熱の愛を注ぎ続けて下さるのです。

「しかし、彼らをつまづかせないようにしよう。湖に行って釣りをしなさい。最初に釣れた魚を取って口を開けると、銀貨が一枚見つかるはずだ。それを取って、わたしとあなたの分として納めなさい。」マタイ17:27。本日の学びは、マタイ17:24-27「神殿税」です。

神殿税

一行がカファルナウムに来たとき、神殿税を集める者たちがペトロのところに来て、「あなたたちの先生は神殿税を納めないのか」と言った。ペトロは、「納めます」と言った。そして家に入ると、イエスの方から言われた。「シモン、あなたはどう思うか。地上の王は、税や貢ぎ物をだれから取り立てるのか。自分の子供たちからか、それともほかの人々からか。」ペトロが「ほかの人々からです」と答えると、イエスは言われた。「では、子供たちは納めなくてよいわけだ。」17:24-26

ユダヤ人の男達は、誰でも毎年神殿税を納める様に法律で義務づけられていました。裕福な者ならいざ知らず、漁師などの貧しいその日暮らしをしていた人々が多く、彼らにとっては苦しい税金でした。イエス様は、神の御子です。この世の王達は、税金を自分の子からではなく、他の人達から集めます。神の御子であるイエス様も、また主によって兄弟とされたキリストを信じる全ての者も、エルサレムの神殿に税金を納める義務はありません。イエス様は「では、子供たちは納めなくてよいわけだ。」とハッキリさせながらも、彼らを躓かせないために、税金を納められました。

主の約束と希望と愛

イエス様ご自身が、そしてその弟子達が、神様に対して献げたのは、強制された税金ではなく、自発的な献げものでした。それは画一的なお金ではなく、彼らの人生そのものが献げられたのです。

「しかし、彼らをつまづかせないようにしよう。湖に行って釣りをしなさい。最初に釣れた魚を取って口を開けると、銀貨が一枚見つかるはずだ。それを取って、わたしとあなたの分として納めなさい。」17:27ガリラヤ湖に生息する魚のうち、オスの親魚が卵を天敵から守る為、口の中に加え、ふ化後も暫くの間、子ども達を自分の口の中で育てる魚います。小魚たちがある程度の大きさに育つと、今度は石ころなどを口にくわえ、それまで小魚たちがいた口を塞ぎ、巣立ちを促すそうです。したがって「口を開けると、銀貨が一枚見つかる。」との御言葉はそのような種類の魚がたまたま落ちていた銀貨を石ころと間違え加えていたのかも知れませんね。でも、どの魚が銀貨を加えているかなど知ることが出来るでしょうか。それは全くもって、主の御業、奇跡、御力です。

おそらくですが、神殿税の金額はたいした額ではなかったかも知れません。でもその僅かな金額であっても、出所に心配しなければならぬほどにイエス様達のお財布事情は厳しかったのかも知れません。けれども、必要な物はいつでも主なる神様がお与え下さるのだ、といった約束と希望、そして尽きる事無い主の愛を教えられます。次回は「第四課、第十七章、神殿税」マタイ17:24-27を学びます。お楽しみに。

参考図書:「早わかり聖書ガイドブック」、「新聖書ハンドブック」他

報 告

- 本日JKでイベント「たこあげ&たこせん」は祝福されたものとなりましたをしました。お祈り感謝します。これからもお友だちの救いと成長、働きの為にお祈り下さい。
- 本日礼拝後、しもべ会を開きます。執事の方はお集まり下さい。
- 3/21(火)西日本福音ルーテル教会総会(岡山・友愛の丘)常議員として清間師が、代議員と清間貴姉が参加されます。総会の祝福、道中の守りをお祈り下さい。
- 能登地震災害義援金、3/3現在20,750円。感謝します。義援金は石川県が設置している「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」受付口座に送らせていただきます。
- 3/31礼拝後、ささやかなイースターパーティーの時を持ちます。食事・スイーツを作ってください方を募集中。詳細は掲示板にて。(材料費請求は飯塚志姉まで)
- 連絡先の変更・追加のある方は、清間師まで御連絡ください。

今週の予定

	聖書日課		祈り
10日 (日)	民21:4-9 詩107:1-3、 17-22 エフエ 2:1-10 ヨハ 3:14-21	9:00- ジョイフルキッズ(イベント) 10:30- 礼拝 礼拝後 しもべ会 19:30- 夕礼拝 (各礼拝:インターネット配信あり)	年題「主に委ね、輝かされ、共に歩む」詩編 37:4-6の御言葉と共に祈り求め歩めるように。 教会本会計、諸会計を覚えて。
11日 (月)	出15:22-27 詩107:1-16 ヘブ3:1-6		清間師、I・ヴァルボ先生の働きと祝福、兄弟 教会を覚えて。宇井師ご夫妻・在原師ご夫妻の 生活と働き、いのちの水計画を覚えて。
12日 (火)	民20:1-13 詩107:1-16 1コリ10:6-13		礼拝に導かれている方を覚えて-山崎さん、佐藤さん、山 内さん、石崎師ご両親、柘植恵子さん、伊藤さん、佐野さ ん、横木さん、佐藤さん、吾郷博昭さん・みのりさん、糸賀 さん、工藤さん、川上生恵さん、飯島さん、安部千姉のご 家族、原淳子さん、堀江富士夫さん、飯塚慶彦さん、岡飛 那汰さん、室谷俊貴さん、また主を求める方の為に。
13日 (水)	イザ60:15- 22 詩 107:1-16 ヨ ハ8:12-20	10:30- 祈り会 午後 清間師 聖書学院奉仕 19:30- 夜の祈り会	阿式通兄、安部梶姉、飯島光姉、勝部さん、佐野 姉、安部末一兄、中奥姉、上田姉の弟さん、佐々木 夫妻、吾郷姉、吾郷みのりさんの癒し、また病の 中におられる方の癒しのために。
14日 (木)	イザ30:15- 18 詩 51:3-14 ヘ ブ4:1-13		コイノニア、ベテル聖研、中高生会、青年会、 マリヤ会の祝福のために。
15日 (金)	出30:1-10 詩51:3-14 ヘブ4:14- 5:4		駐車場の土地(東隣地)が与えられるように。 各地で起きた災害に遭われた方々のために。
16日 (土)	ハハ3:2-13 詩51:3-14 ヨハ12:1-11		ジョイフル・キッズの働き、お友達の救いと成 長のために。全ての礼拝の祝福のために。それ ぞれの奉仕者を覚えて。

次週(3/17)当務

説教	清間師	受付	佐藤姉(浜)	音響	吾郷兄	掃除	1 F 礼拝堂	佐藤姉(浜)	
司式	小林兄	聖餐 片付け		P J	清間姉		1 F その他	飯島百姉	
奏楽	清間志姉			昼食			2	F	山内姉
聖書朗読	清間貴姉	お花	清間貴姉					3	
献金	阿式姉	聖餐				片付	1	F	清間師夫妻
	清間貴姉						2	・ 3	F

J説	K教	清間師	夕拝説	清間師	夕拝奏	ヒムP	夕拝仕	
----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

聖書箇所	エレ31:31-34 詩篇51or119:9-16 ヘブ5:5-10 ヨハ12:20-33 「一粒の麦」 206・459・300・510・64・28
教祈	世界の平和、被災に合われた方の慰めと癒しのために。 コイノニアの祝福。礼拝に導かれている方・求道者の救いの為に。

- ◆初めての方でも初歩から学べるバイブルクラス(聖書入門)があります。ご希望の方は牧師まで。
- ◆洗礼はクリスチャン生活のスタートです。洗礼のご希望・ご相談のある方は牧師まで。